

# 鶴見川舟運復活プロジェクト

<http://shuun.mokusiroku.com>

昔、鶴見川においては「舟運」という文化がありました。  
流域自然や伝統文化の中には、我々の生活に関連することが多く含まれることに気付かされます。



- HOME
- 舟運の歴史研究
- 和舟復活プロジェクト
- 舟運関連イベント
- お問合せ・会員登録

## LINK



大倉精神文化研究所

**両方ち**  
明治年間（1492年）鎌倉極楽寺から船で鶴見川を漕り新羽に創建されました。



昔の人々い川と舟に生活をしており、鶴見川においては「舟運」という文化があった。  
この「舟運」という文化に焦点をあてて、鶴見川に舟を復活させて、流域の自然や伝統文化を子供達や地域住民に伝えるために「舟運復活プロジェクト」を立ち上げました。  
当プロジェクトにご興味のある方は、ぜひご参加ください。 [参加お申込みはこちら](#)



2008年6月15日 12:30～  
新横浜公園臨水地で進水式を行いました。  
[←詳細はこちら](#)



# むかしの太尾河岸(船着場)

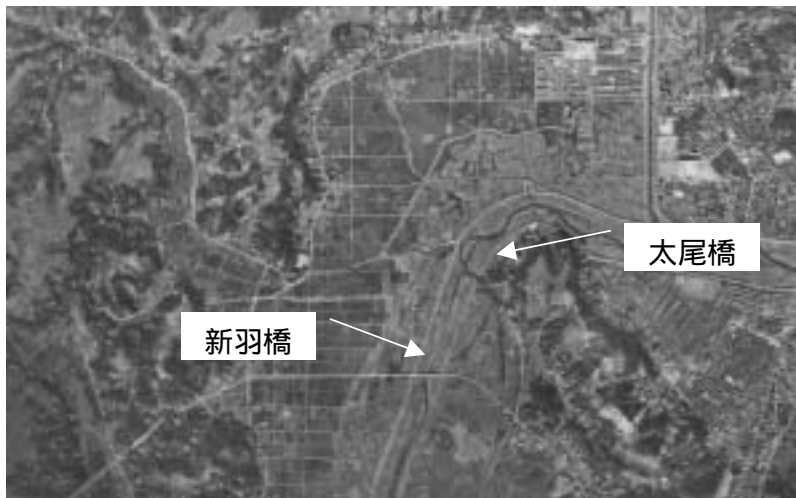
「荷場(にば)」荷物を降ろす場所から  
新羽(にっぱ)と呼ばれるようになった



森菊夫筆の「太尾橋と太尾河岸」の図



太尾橋の写真



航空写真 1955年(昭和30年)



太尾付近の屋号

なぜ新羽に船着場ができたのだろうか？



自然環境を利用した舟運  
潮の満ち引きを活用

道路が発達していなかった  
時代は、大きな荷物は川を  
使って運ばれていた

# 鶴見川で使われていた舟・・・

大水や水害時、舟は必需品だった



池谷家の御用船調査



飯田家の水害予備船調査

アカトリ(掻い出し)

# 舟を造って、川に浮かべてみよう！ 1艇め：舟運丸



舟運丸 進水式



舟運復活プロジェクト  
子どもと共に進水式  
新横浜公園・遊水池

子どもたちが船に乗った

「鶴見川舟運復活プロジェクト」（長谷川武昭会長）が15日、有休の手で完成させた「舟運丸」の進水式を新横浜公園・遊水池で行った。

当日は延羽小学校、本尾小学校の生徒や新横浜町内会の子どもたちの児童ら約40人が参加し、舟運丸一をほじり、同会や新横浜町内会が所有する船に変わる体験をした。

子どもの一人は「船が揺れて恐かったけど、自分でも漕ぐことができて面白かった」と楽しそうだった。

長谷川会長は「芝居にも恵まれ、当初よりも多くの子どもが来てくれた。これを機に地域の川を知ってもらえれば」と話した。



亀甲橋から新羽橋までの鶴見川舟行

# 和舟を建造！ 2艇め：たちばな

